

[ my second home ]

Word: たたきち / music: ○○○○○○○○○

はじめではひとりで

頑張れと元気を充填して

電車やられ窓の外

くれたようだった

「新鮮だね、景色が。」

街歩くだけでも楽しい時間だった

胸中に響く

何気ない会話してるだけだった

降りた停車場そば

何も変なコトをしてはいないよ

風が爽やかで

けれど何故だらうまぶたには

夢のようだった 眺める景色

あふれる 光るもの

それだけでよかったんだ

一度で終わりじゃないけれど

多くは求めないから

次はいつだろう

空の色のよう 青くされいだね空気

ゆっくりとこの場所へ来れる

ここにいる素晴らしさをすぐに

今日よりももっとゆっくり

誰かへ伝えたい

またここへいつか帰ると伝えて通る

静かだねここは 少し廢れてる街だね

頑張って生きていく元気もっともらいたい

暖かい人たちの目 光満ちてゐる

いつもでも

きっと来れるよね この街はずっと

変わらないで

[ Best friends ]

Word: たたきち / music: ○○○○○○○○○

高らかな叫びで

一人ぼんやり眺めていた

空が暗くなつてくまでには

そこに降り立とうか

もう学ぶことはない教室や

朽ち果てたベンチ

もう今はつかわれない机

あの日の事が蘇ってきてる

今は戻れない青春

点滅する信号 車は通らない

家路を伝つて電灯探す

空いつるバスの一一番うしろに

一人ぼんやり座った…

今は会えないかもしれないけど

いつか会える日が来ることを

眺める野焼きの赤い炎たちが

草原焼けてる懐かしい薰り

「きっと、会いましょう。」と

ここでよく遊んだよね…